

## さいたま市民医療センターにてご加療中の方へ

当院では、難聴にて外来を受診した患者さまにおける、聴こえの長期的経過および変化を調査する研究を行っています。

難聴の患者さまにおいて補聴器を装用した後、聴こえが改善したという文献は多いですが、その後の長期的な経過について報告した文献はほとんどありません。今回、難聴にて外来を受診し、聴力検査および補聴器適合検査を実施した症例において、定期的な観察を行います。蓄積されたデータを分析することで、難聴・補聴診療の新たな知見が得られると考えています。

### 【研究課題】 聴取能に関する長期的経過の検討

#### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 **さいたま市民医療センター 診療科 耳鼻咽喉科**  
 研究責任者 **診療科 耳鼻咽喉科 科長 江洲 欣彦**  
 担当業務 **データ収集・匿名化・データ解析**

### 【研究期間】

倫理委員会の許可後～ 2029年3月まで

### 【対象となる方】

倫理委員会の許可後～ 2029年3月31日の間に当院の外来受診された方の中で、18歳以上の難聴の方が対象となります。

### 【研究の意義】

補聴器を装用することで聴こえは改善と言われてはいますが、その後の長期的経過の効果検証は充分ではありません。その効果が示されれば、難聴・補聴診療の新たな知見が得られると考えています。

### 【研究の目的】

難聴にて外来を受診し、聴力検査および補聴器適合検査を実施した症例において、定期的な観察を行います。定期的調整および聴覚リハビリテーションを継続し、聴こえの長期的経過および変化を評価します。

### 【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センターの倫理委員会の承認を受け実施するものです。通常の診療の範囲内で、聴こえの改善を評価します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよ

う、慎重に取り扱います。

得られたデータは個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、パスワードのかかる記録媒体に保存します。また、記録媒体は鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。得られたデータは希望に応じて、対象となった方に供覧することも可能です。

この研究のためにご自分（あるいはご家族）のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の問い合わせ先まで 2029年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、**個人が特定出来ない形式で学会等で発表**されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後**5年間**保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または下記の問い合わせ先へお尋ねください。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。  
尚、あなたへの謝金はございません。

2024年10月

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 耳鼻咽喉科

住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1

電話：048-626-0011